

2. 橋の親柱

第96回散策では、黄金町から大岡川を遡り大岡川と中村川の合流点へ、そこから中村川を下り横浜橋まで旧吉田新田の跡を歩きました。下の写真は、吉田新田に掛かっている橋の親柱です。また前のページに吉田新田に掛かっている橋の地図を掲載しておきました。中川（吉田川）・富士見川・日出川・派大岡川・桜川は埋立てられ、中川の下に横浜市営地下鉄が走っており、地上部は大通公園です。

(1) 太田橋 - 前方のガード左が京急 黄金町駅



(2) 栄橋



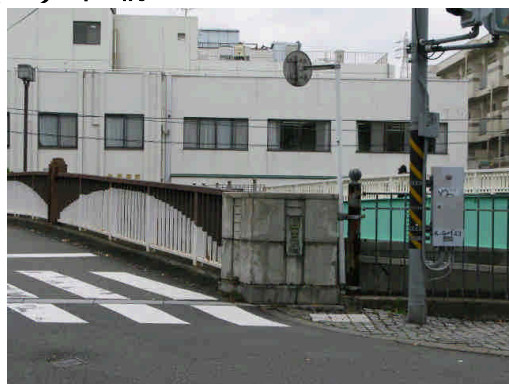
(3) 道慶橋



(4) 一本橋



(5) 山王橋



上記(3)道慶橋について
「道慶橋」の橋のたもとに由来碑があります。これによると、雲水僧 道慶が付近住民の難儀を救うために、万治元年(1658)独力で橋を作り住民の難儀を救った。と書いてありました。

(6) 葭谷橋 - 大岡川と中村川の分岐点
右が大岡川・左が中村川、大岡川
上流からみる



(7) 葭谷橋より大岡川を見る
大岡川の上流(弘明寺方面)を見る
左前方が蒔田公園



(7) 吉野橋



(8) 吉野橋周辺



(9) 共進橋



(10) 日枝橋



(11) 睦橋



(12) 池下橋



(13) 「遊廓」の碑



散策は池下橋から千歳橋(埋立てられ地名のみ)~浦舟町~横浜橋商店街へと歩き、大鷲神社で「遊廓」の碑をみて解散となりました。

以上